


施設名	(旧)津奈木隧道								
所在地	熊本県 津奈木町								
管理者等	津奈木町								
施設種類・分野	道路	隧道	 						
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>旧津奈木隧道は、坑口左右には、石ピラスターと帯石、又煉瓦ポータルが施工されています。笠石、帯石、門柱、リングアーチに至るその全てが石造りです。また、煉瓦の積み方は、フランス積を採用し、隧道内部のアーチ部は、煉瓦の長手積、側壁部は、イギリス積を採用していることも特徴として挙げられます。丁寧な造り込みは、当時、既に日本の根幹を成す重要な路線という位置付けで大動脈の流れを止めてはならないという使命感によるものであろうと想像されます。普通車同士の内部離合が可能な幅員5.5mが確保されていることは、その後の自動車時代に対応させるという先見の明があったといえます。(引用元:一般社団法人 九州地域づくり協会 土木遺産in九州)</p>								
築造時期	明治後期	時期詳細	明治34年						
関連人物	-								
関連企業	-								
トピックス (特徴的エピソード)	<p>八代市と水俣市の間にそびえる三つの峠は、三太郎峠(赤松太郎、佐敷太郎、津奈木太郎)とよばれ、南九州の交通の要衝であるとともに難所でもありました。この解消のため、1901年に津奈木隧道が、2年後の1904年に佐敷隧道が開通しました。両トンネルとも外国人の技師が設計し、日清戦争の賠償金を基に建設されたといわれています。(引用元:一般社団法人 九州地域づくり協会 土木遺産in九州)</p>								
歴史的な遺産等の指定の有無等	-	選奨土木遺産(土木学会)	-	文化財(文化庁)	登録有形文化財(建造物)	近代化産業遺産(経産省)	-	世界遺産(ユネスコ)	-
その他 (関連資料、文献)	一般社団法人 九州地域づくり協会 土木遺産in九州ホームページ								
管理者等のHP (URL等)	一般社団法人 九州地域づくり協会 土木遺産in九州 http://dobokuisan.qscpu2.com/search-list/04kumamoto/06sashiki/								